

【核融合、実用化に向け競争激化 Energy Frontline】

DX・AI時代の『人材育成』と『組織づくり』とは/産経DXセミナー

7/15 朝刊  
スポーツ欄

## 大学運動部、相次ぐ法人化 スポンサー、ネットで資金調達「練習環境変えたい」

2023/7/14 19:57 奥村 信哉

スポーツ | その他 ライフ | 教育

ツイート

反応



練習する中大バスケ部の選手ら。ユニホームには支援法人が契約した企業のロゴが入る＝東京都八王子市（奥村信哉撮影）

大学の運動部を活性化させるため、運営を支える一般社団法人を設立するケースが相次いでいる。スポンサー獲得やグッズ販売などで学外から資金を確保し、学生の負担を減らすことなどが目的。京大アメリカンフットボール部や慶大ラグビー部などが法人化した。昨年3月に法人を設立した中大バスケットボール部は活動を一歩進め、購入額に応じた特典がつく「トークン」を8月から発行して広く資金調達を図る方針。

中大バスケ部を支援する一般社団法人「CHUO BASKETBALL CLUB」の理事でバスケ部部長の渡辺岳夫・商学部教授によると、設立のきっかけは2021年12月の全日本大学選手権だった。夏に故障した数百万円する移動式バスケットゴールが買い替えられないような状況をもものともせず8強入り。準々決勝では河村勇輝（横浜BC）大倉颯太、金近廉（ともに千葉J）らを擁した東海大に65-69の大接戦を演じた。「学生が頑張っているのに大人が頑張らないのは恥ずかしい。練習環境を劇的に変えたい」（渡辺教授）と法人化に踏み切っ ×

はデロイトトーマツグループ（東京都千代田区）などとスポンサー契約を結び、バスケット部のユニホームには企業ロゴが入った。得られた収入はトレーニング機器や栄養食品の購入などに充てた。

さらに老朽化した選手寮の一新も図ろうと、新たな資金調達法として目をつけたのがインターネットのトークン発行型ファンディングサービス「フィナンシェ」。支援者に「トークン」を購入してもらうことで資金を集め、トークン保有者だけが参加できる企画などの特典がつく。スポーツ界ではサッカーJ1の湘南、福岡や卓球Tリーグの琉球などが活用しており、中大バスケット部は選手の自己紹介や活動報告などが掲載される「トークルーム」を開設し、その参加権などを特典とする予定だ。

運営には渡辺教授のゼミ生らも関与し、特典の内容なども考えさせている。「スポーツビジネスに興味のある学生にとってはいい経験になる」と渡辺教授。「トークン」はさまざまな大学の部活動で活用できる可能性があるとし、「大学スポーツをちゃんとしたマーケットにしていくのが長期的な目的。先行事例になり、他大学が追随してくれば、大学スポーツ自体の魅力が増すのではないか」と力をこめる。（運動部 奥村信哉）

#### ■法人を設立した主な大学スポーツ

- ・東大アメフト部
- ・京大アメフト部
- ・慶大ラグビー部
- ・明大競走部
- ・明大サッカー部
- ・中大サッカー部
- ・中大バスケット部